

平成 18 年 12 月 6 日  
東京都板橋区小豆沢 3-6-10  
オリエンタル酵母工業株式会社

オリエンタル酵母工業は子会社である北山ラベスの伊那バイオセンター増設により、  
当社グループのバイオ部門の研究支援事業を更に拡充しました

オリエンタル酵母工業株式会社（本社：東京都板橋区、社長：内藤利邦）の連結子会社である北山ラベス株式会社（所在地：長野県伊那市、社長：平澤和男）は、伊那バイオセンターを増設しオリエンタル酵母工業グループのバイオ事業に於ける研究支援ビジネスを更に強化いたしました。

北山ラベス株式会社伊那バイオセンターは、受託飼育、バイオ試薬、抗体作製、発熱性物質試験などの事業を手がけております。このたび新たに 3 号館を増設し業容の拡充を図ると共に、それまで近郊にありました細胞培養、遺伝子発現を行う施設も統合いたしました。これにより一環した研究支援事業が可能となるとともに効率化を図り更なる拡大を目指します。

北山ラベス株式会社は動物実験用ウサギのブリーディングを事業の中核として昭和 40 年に発足し、現在は動物実験用 SPF ウサギの生産・販売のほか、抗体作製、細胞培養、遺伝子発現、動物飼育などを手がけております。平成 16 年に伊那バイオセンターを開設し、抗体作製の施設を拡充するとともに昨年新たに発熱性物質試験事業に参入いたしました。

この発熱性物質試験は製薬メーカーにおいては医薬品の製造開発や品質管理で重要な役割を果たしておりますが、平成 17 年 4 月の薬事法改定による規制緩和に伴いアウトソーシングが可能となりました。当社では研究支援事業の新たなビジネス領域として、伊那バイオセンターにおいて取り組んでおります。

〔伊那バイオセンターの概要〕

所在地	長野県伊那市西箕輪 8046-1
敷地面積	3,800 m <sup>2</sup>
施設延床面積	2,277 m <sup>2</sup>

以上

